

2019 年度・2020 年度合同富士スカウト顕彰  
参加報告書

群馬県連盟太田地区館林第 1 団

田村つむぎ

## 2019年度・2020年度合同富士スカウト顕彰 参加報告書

### 【活動概要】

事業名：2019年度・2020年度合同富士スカウト顕彰

実施日：2021年3月27日（土曜日）

活動場所：オンライン(zoom)による自宅からの参加

### 【日程】

- 10：00 皇嗣殿下とのご接見対象スカウト集合  
通信状況確認、服装確認等
- 10：40 開会事前アナウンス
- 10：45 開会セレモニー
- 10：55 殿下ご入室事前アナウンス
- 11：00 皇嗣殿下ご入室  
日本連盟挨拶
- 11：05 皇嗣殿下とのご懇談  
ブレイクアウトルーム機能を用いてグループごとに分かれる
- 11：45 殿下からのお声かけ  
代表スカウト決意のことば
- 11：50 皇嗣殿下ご退室  
閉式の辞
- 11：55 顕彰用 zoom に入室
- 12：00 顕彰開会セレモニー
- 12：10 激励のことば  
菅内閣総理大臣、萩生田文部科学大臣、逢沢衆議院議員（ボーイスカウト振興国会議員連合会長）、奥島孝康ボーイスカウト日本連盟総長、宮川大輔ボーイスカウトアンバサダー
- 12：25 グループディスカッション  
「25歳のわたしは、世の中に対して何ができるようになっていきたいか？」
- 12：45 RCJ 活動紹介
- 12：55 顕彰閉会セレモニー
- 13：00 交流行事
- 14：15 終了

## 【感想】

選ばれた人しか参加できない素晴らしい機会であり、とても光栄であった。

皇嗣殿下とのご接見は緊張したが、皇嗣殿下は想像よりも優しい雰囲気の方だったので、緊張しつつもリラックスして懇談に臨むことができた。自分の行ったプロジェクトについてしっかり伝えることができたので後悔はない。皇嗣殿下は、生物学系のプロジェクトを行ったスカウトに専門的な質問をされていた。皇嗣殿下の学者としての一面を見ることができた。

後半の顕彰では、東京・兵庫・広島の実地スカウトと交流した。それぞれの富士プロジェクトの話聞き、野外活動や基本技能にとどまらないスカウト活動の可能性を感じた。グループディスカッションの中で印象的だったのは、それぞれが考える25歳の自分の理想像が様々であったことである。社会に貢献しよりよい方向へ導いていくこともスカウトがすべきことの一つではないかと感じた。

今回このような素晴らしい機会をいただけたのは、スカウト活動を通して私に関わってくださったすべての方のおかげである。お世話になった館林第1団のスカウト・指導者を初めとして、ジャンボリー等で一緒に活動した県内のスカウト・指導者、また県連盟の方々にもお世話になった。本当にありがとうございました。

富士スカウト章は「真のスカウト」になるための始まりだ、と聞いたことがある。富士スカウト章をとることと富士スカウトになることは同義ではない。今回の顕彰への参加を通じて、社会に自分の経験や能力を還元できるよう今後も頑張りたいと感じた。